

特定非営利活動法人補助金に関するアンケート調査 結果

- 調査対象 NPO支援基金(よこすか元気ファンド)登録団体
45団体 ※令和6年8月時点
- 実施期間 9月5日(木)～9月24日(火)
- 調査方法 団体あて郵送
- 回答数 23件(回答率51%)

目的

特定非営利活動法人補助金制度は平成21年に始まり、途中、市民協働審議会において運用見直しを行いながら、広く横須賀市内のNPO法人を支援してきた制度である。

その財源はNPO支援基金（よこすか元気ファンド）に寄せられた寄付であり、市民が、市内のNPOを支援する仕組みの一旦を担っている。

しかしながら近年では、申請件数の伸び悩みや、申請団体の固定化等、課題が見受けられること、また、申込団体にとっては、申請事務にかかる負担に対して申請可能額が少ないなどの点から、「利用したい制度」としての魅力が少ないと捉えられている。

よこすか元気ファンドへ寄せられた寄付が、市内のNPO法人にとって有益に利用される補助制度となるよう、制度を見直すにあたり、アンケートを実施した。

質問 内容 1/2

特定非営利活動法人補助金の申請について

- Q 1、**横須賀市の特定非営利活動法人補助金の財源が、NPO支援基金（よこすか元気ファンド：市民や事業者の皆様から寄せられた寄付金）であることを知っていますか？
はい/いいえ
- Q 2、**年に1度届く、特定非営利活動法人補助金の応募団体募集のお知らせから、補助金を検討していますか？
はい/いいえ
- Q 3、**特定非営利活動法人補助金を申請（活用）したことはありますか？（過去も含めて）
申請したことがない →質問4へ
申請し、活用したことがある →質問6へ
申請したが交付されなかった →質問6へ
- Q 4、**補助金を申請しない理由は何ですか？（上位3つまで）
申請手続きた報告事務の煩雑さ 金額と申請のバランス
他の補助金(横須賀市)を申請 他の補助金(他自治体・民間)を申請
運営上、なくても問題ない
- Q 5、**「このようにしたら申請を検討する」というご意見や理由等ありましたら、ぜひお聞かせください。
（自由記載）
- Q 6、**補助金申請の理由を教えてください。（複数選択可）
事業の拡充 既存事業の充実 団体の運営 その他（理由：自由記載）

質問 内容 2/2

よこすか元気ファンド登録団体の状況について

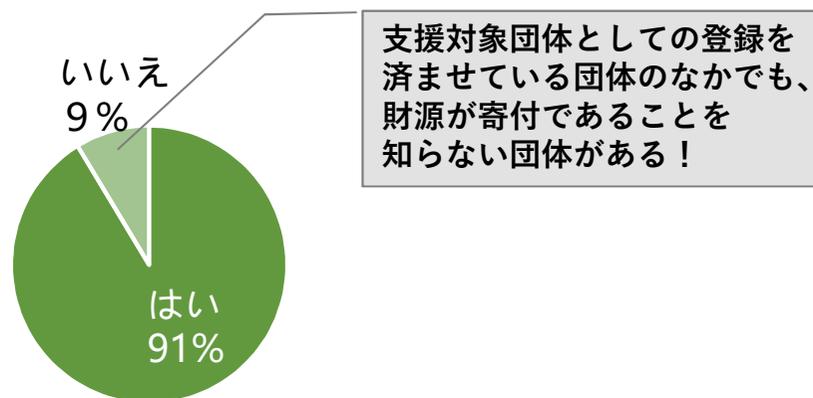
- Q7、よろしければ、貴団体の年間総予算額を教えてください。（自由記載）
- Q8、貴団体の主たる財源を教えてください。（最もあてはまるのも1つ）
会費収入 販売・サービス利用料等 業務委託 補助金(民間法人等) 補助金(行政)
その他(具体的に記載)
- Q9、貴団体の運営に関する課題はありますか？（上位3つまで）
担い手不足 資金不足 活動場所不足 他団体との連携 企業とのマッチング
活動の維持 その他(具体的に記載)
- Q10、貴団体にとって魅力のある補助制度はどちらですか？（どちらか1つ）
助成額 1万円/申請：易（書類数枚程度の申請で、書類審査後、交付。事業報告等が簡便。）
助成額 30万円/申請：難（申請後、選考会があり、事業終了後は詳細な事業報告を要する。）
- Q11、助成してほしい費目や、補助対象経費等がありますか？（最もあてはまるもの1つ）
なんでもよい 管理費(人件費等) 事業費 その他(具体的に記載)
- Q12、貴団体への支援者（寄付者）を増やすため、活動等を企業や市民にPRすることに対し、市にどのような支援を求めますか。（最もあてはまるもの1つ）
企業や地域住民との交流会 広報紙等発行物へ掲載 広告折込・ポスター
その他(具体的に記載)

調査結果 1/4

特定非営利活動法人補助金の認知度

Q1、財源について、知っているか

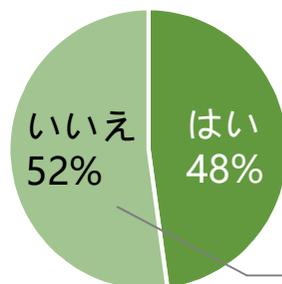
はい 21件
いいえ 2件



補助金の検討・活用について

Q2、検討しているか

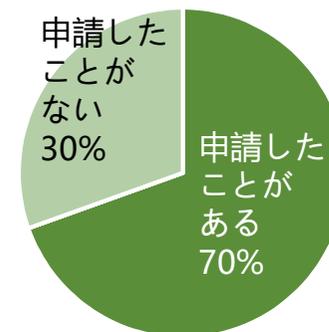
はい 11件
いいえ 12件



約半数は「検討していない」理由については、Q4・Q5

Q3、申請（活用）したことがあるか

申請（活用）したことがある 16件
申請（活用）したことがない 7件
申請したが交付されなかった 0件



調査結果 2/4

補助金を申請したことがない団体へ

Q4、補助金を申請しない理由は何ですか？



《その他 意見》

- ・活動規模が小さく補助金をもらうまでではない
- ・手続きのアナウンス期間が短い

Q5、「このようにしたら申請を検討する」というご意見や理由をお聞かせください

《自由意見》

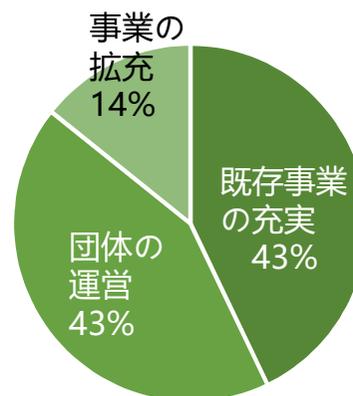
- ・一定要件を満たせば通年申請できると良い
- ・申請手続き・報告事務が簡便で金額が多いと良い

「申請手続きや報告事務の煩雑さ」が一番の理由、次いで多いのは金額

補助金を申請したことがある団体へ

Q6、補助金申請の理由は何ですか

既存事業の充実	9件
団体の運営	9件
事業の拡大	3件
その他	0件



調査結果

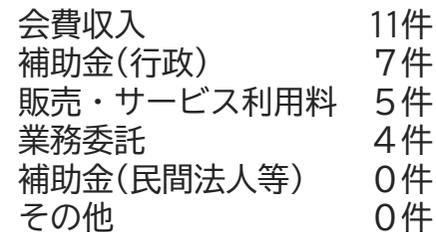
3/4

団体の予算規模・財源

Q7、団体の年間総予算額（自由記載）



Q8、主たる財源

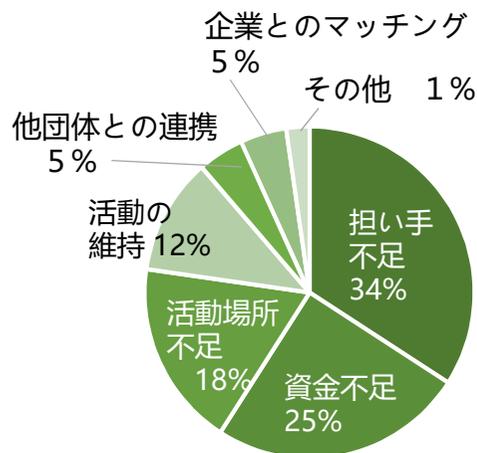


「会費収入」に次ぎ、「行政からの補助金」が主たる財源を占めている

運営について

Q9、運営についての課題はありますか

担い手不足	15件
資金不足	11件
活動場所不足	8件
活動の維持	5件
他団体との連携	2件
企業とのマッチング	2件
その他	1件



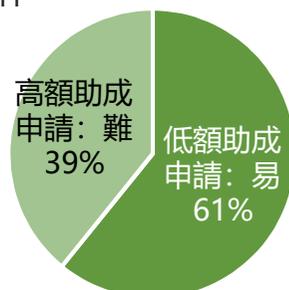
運営課題は、「担い手不足」が最も多い

調査結果 4/4

補助内容について

Q10、魅力のある補助制度はどちらですか？

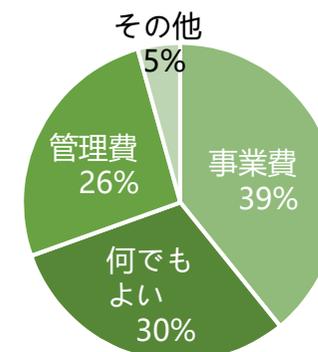
申請は簡単だが少額 14件
申請は難しいが高額 9件



Q11、助成してほしい費目や、補助対象経費等

事業費 9件
なんでも良い 7件
管理費(人件費) 6件
その他 1件

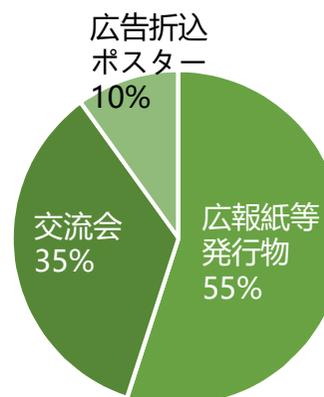
《その他 意見》
・活動場所にかかる費用



支援者(寄付)を増やすために

Q12、団体への支援者(寄付者)を増やすためのPRにおいて、市に求める支援は何か

広報紙等発行物への掲載 11件
企業や地域住民との交流会 7件
広告折込・ポスター 2件
その他 0件



PR方法については、広報紙等の定期的に発行するようなものに掲載を望む声が多い

まとめ

《特定非営利活動法人補助金の申請について》

- アンケートの調査対象となったNPO法人は、NPO支援基金（よこすか元気ファンド）支援対象団体であるにもかかわらず、特定非営利活動法人補助金の財源が、市へ寄せられた寄付だということを知らない団体が存在することがわかった。
- 申請しない理由としては、申請手続きや報告事務の煩雑さが一番の理由となっており、次に続くものが金額と申請のバランスであった。
- この補助金は、事業の拡大よりも、団体の運営基盤の部分に使われる傾向がある。

《登録団体の状況について》

- 支援対象団体の活動予算規模は大きくバラつきがあり、団体が応募したいと考える補助金額を設定するのが難しい。
- 運営課題については、担い手不足が資金不足を上回っていた。補助金という形の財政的支援のほか、活動の継続や団体のPR等に対する支援方法についても、考えていけると良い。

これらの調査結果から、市へ寄せられた寄付を有効的に活用し、求められる支援事業となるよう見直しを進めていきたい。